

港湾積算の講習会に関する一考察

令和元年 9月5日

(一財)港湾空港総合技術センター 島田 伊浩

1.目的

当センターでは、港湾工事の積算に対する理解を深めるとともに、適正な運用が図られることを目的として、港湾管理者及び民間企業の積算業務担当者等を対象に港湾における積算基準の改定概要等について港湾工事積算基準講習会を毎年開催している。

ここでは、平成29,30 年に実施した講習会のアンケート結果を示し考察を述べる。

2.所属別の参加者数

所 属(名:率)	平成29年		平成30年	
港湾管理者	36	5%	43	6%
建設会社	591	78%	552	77%
コンサルタント	61	8%	60	8%
その他	51	7%	42	6%
未記入	16	2%	17	2%
合 計	755	100%	714	100%

3.積算業務経験年数別の参加者数

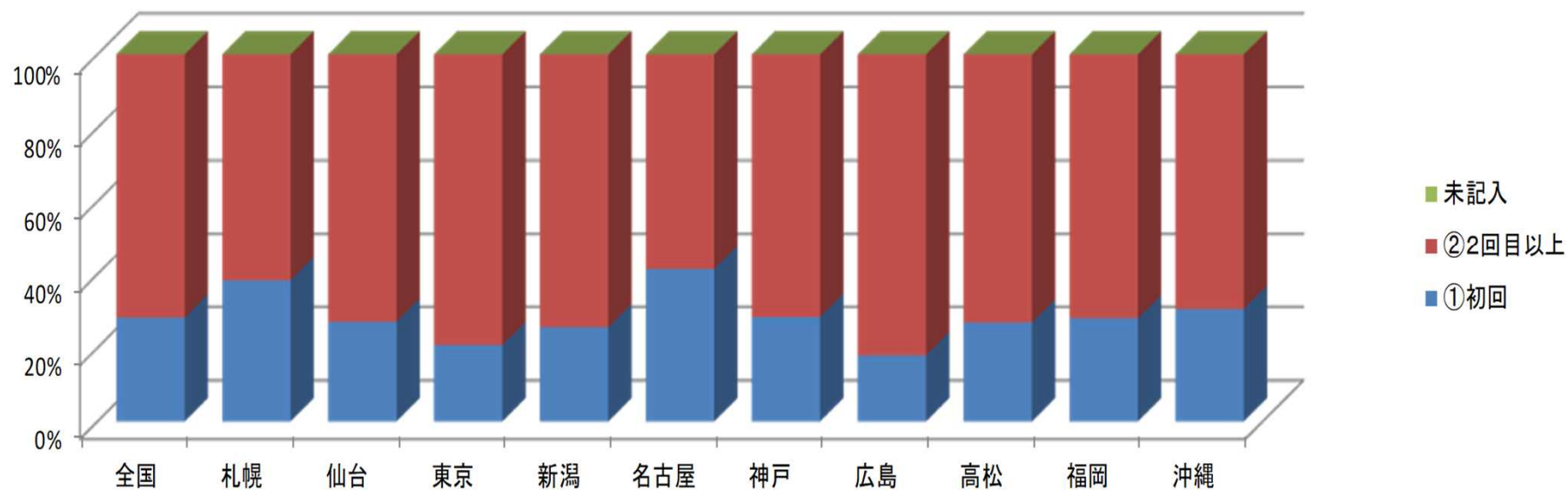


経験年数(名:率)	平成29年		平成30年	
1年以下	135	18%	137	19%
2年以下	56	7%	0	0%
3年以下	51	7%	102	14%
3年超	498	66%	471	66%
未記入	15	2%	4	1%
合 計	755	100%	714	100%

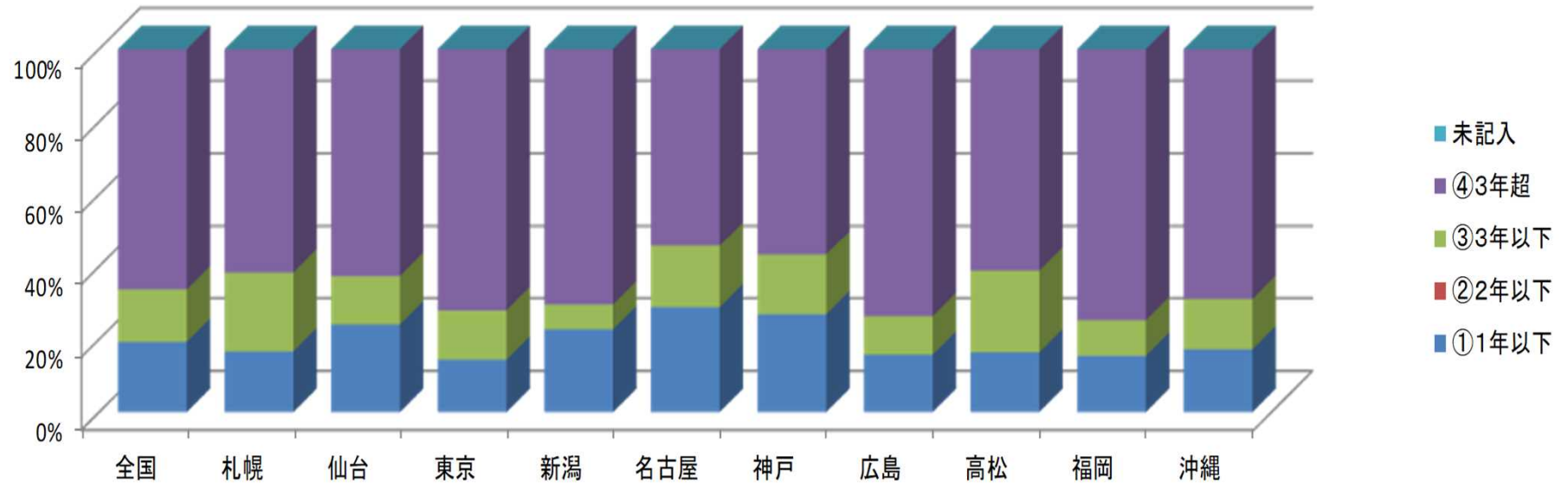
4.地区別参加者数

参加者数(名)	全国	札幌	仙台	東京	新潟	名古屋
平成29年	755	74	82	98	52	68
平成30年	714	60	85	111	43	58
計	1469	134	167	209	95	126
率(%)	100%	9%	11%	14%	6%	9%
参加者数(名)	神戸	広島	高松	福岡	沖縄	
平成29年	65	44	76	142	54	
平成30年	67	39	67	125	59	
計	132	83	143	267	113	
率(%)	9%	6%	10%	18%	8%	

5.平成30 年講習会 各地の参加回数率



6.各地区の積算業務の経験年数比率



7.考察

講習会は、多様化する工事に的確に対応した積算技術の習得や新たに導入される技術等への理解を向上を目的としている。

また、積算者には港湾工事の特殊性を十分に把握し、工事現場に精通した高度な経験と洞察力を持つことが要求される。

そのため、適正な積算価格を算定するためには、積算方針決定時に想定した施工方法等が技術的、経済的にも適切であることが必要である。

ご清聴ありがとうございました